

NSC だより 10月2号

中原セーフコミュニティ（NSC）で防災関係学習会を開きました

先月14日（日）《18:30～20:00》に標記の「防災関係学習会」を開催致しました。その模様をお知らせ致します。

この学習会につきましては、事前の回覧板「防災関係学習会のお知らせ」により、区民の皆さんに広報して参りました。当日は、箕輪町セーフコミュニティアドバイザー向山静雄氏をお迎えし、30名余の区民の皆様のご出席をいただき開催することができました。下記内容での学習会となりました。

- 会長挨拶
- 防災DVDの視聴
『神城断層地震 ～白馬の奇跡・復興への歩み～』
- 講話 『地震対策で大事にしたいこと』
講師：箕輪町セーフコミュニティアドバイザー 向山静雄さん
- 意見交換

○会長挨拶

最近の災害（西日本大豪雨・胆振東部地震）の状況を見ると危機感を覚える。本日の学習会での学びを、区の今後に活かしていきたい。中原区は小さい区であるが、共助

体制をつくるという面で、それはメリットであると思っている。

○防災DVDの視聴 『神城断層地震 ～白馬の奇跡・復興への歩み～』

平成26年11月22日（土）午後10時8分に発生した神城断層地震（震度6弱、マグニチュード6.7）に見舞われた白馬村の地震対応を目の当たりにしました。多大な住宅被害（全壊42棟、大規模半壊12棟、半壊20棟）の中で、負傷者こそ41名にのぼりましたが、死亡者はゼロであったことは、記憶に新しいところです。

その白馬の奇跡は、倒壊した家屋の中から、地域住民の手によって居住者を次々に救出するという共助の力によってもたらされていたのです。白馬では、日頃の地域住民のふれあいやつながりの中で、災害発生時に対応していける共助が地区に醸成されていたことを知ることができました。

○講話 『地震対策で大事にしたいこと』

SCアドバイザーの向山さんから、概略次のようなお話をいただきました。

◇中原区に関する地震の被害予測

ご用意された資料「箕輪町における地震被害想定（第3次調査・平成25～26年度長野県実施）」に基づき、中原区にも寄せてお話をいただきました。心配される伊那谷断層（西部山麓沿いを通る）に起因する地震の発生は、向こう30年以内ほぼ0%だそうです。他の断層に係わっては別紙をご覧ください。

◇対策

①個人として（自助）

- ・家屋の耐震化…耐震診断(56.3.31)前の家屋は旧耐震基準、耐震補強が必要
- ・家具転倒防止の推進・感震ブレーカーの設置
- ・命のカプセル(救急医療情報)の備え付け
- ・必要物品の備蓄（水、食料、電池等）等

②地区として

- ・防災マップの整備
危険マップ：ハザードマップ、被害想定図
資源マップ：消火栓、防火水槽、救助関係有資格者等
行動マップ：要支援者・要配慮者等

・共助

避難地での安否確認⇒避難要支援者・要配慮者支援⇒避難者の振り分け（負傷の度合、治療優先順位 等）



情報発信：区内、避難者への拡声器や防災行政無線による放送

※「普段の対策（事前の軽減対策）」《個人》「情報伝達手段の確保・被害把握や支援体制の確立」《区》の整備を確かにし、共助体制を確立していきたい。

○意見交換

十分な時間確保ができませんでした。「防災関係学習会は中原区では初めての企画であるが他地区での取組みはどうか」という質問に対して、講師の向山さんから福与地区での小地域（常会）での取組み事例やSC組織のある区においては、防災や暮らしの安全への取組みが確かになされていると思うとのお話がありました。

会長から「中原区では、区役員は1~2年で交代してしまうが、セーフコミュニティの組織（NSC）で継続性を確保している」との話がありました。

会の終わりには、出席者に学習会の感想・意見等を記していただきました。

～防災関係学習会への出席者の感想・意見等～

《DVD「神城断層地震 ～白馬の奇跡・復興への歩み～」を視聴して》

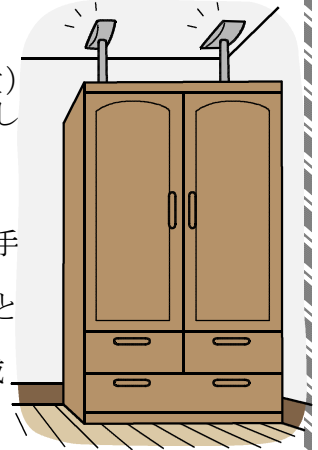
- ・良いビデオDVDでした。（自助・共助の大切さがわかりました）
- ・日頃からの備えが大事だと思った。
- ・白馬村の団結力（共助）、すごいと思った。参考にして取り組めれば良いと思った。
- ・地域の繋がりの大切さを感じた。日頃の日常生活でのコミュニティ活動が大事だと感じました。
- ・改めて被害の大きさを痛感しました。死者0の意味、地域の人の協力の大切さを感じます。いつ災害がやってくるかわからないので、中原地区でもさらに意識改革や防災対策を考えていく必要を感じました。まだまだ他人事に思っていることが多いなあと思います。
- ・自助、共助、公助が心に残った。・近所づきあいの大切さを感じた。
- ・地域の普段からの交流が有事の際に力を表わすことが理解できました。
- ・普段からの住民同士のコミュニケーションが大切な事が再認識させられました。
- ・行政等が動く前の初期の住民協力がとても大切な事だと思いました。
- ・日頃の地域住民の状況確認の必要性、地域住民の協力の重要性が分かった。
- ・自助、共助を生かす為には、日頃の人（ご近所）との付き合い方が肝心だと思いました。地震があった後どうするかとのシュミレーション・ご近所付き合いを日頃から意識し、生活する事からやっていきたいと思いました。

《講話「地震対策で大事にしたいこと」を聴いて》

- ・家具転倒防止など、できることから取り組んでいきたい。（複数）
 - ・防災意識をもっと高めていかなければ…と思いました。家族でしっかり話し合ってみないといけないと思います。
 - ・減災で、各家庭でできることについて考えることができた。
 - ・様々な角度からの対策のたて方など参考になりました。
 - ・安全対策等、細かい説明を聞けました。自分で出来ることから手をつけたいと思います。
 - ・地震対策や地震保険はしているが、もう一度確認し直し、もっと出来ることのあるのか考えてみようと思う。良い機会になった。
 - ・「地震は必ず来る」との意識をもって、対策を考え、被害の軽減をしていくよう取り組みたい。
 - ・感震ブレーカー等にも関心を寄せていきたいと思いました。
 - ・地震保険の必要性、地震後の火災防止の面からの感震ブレーカーの必要性を感じた。
 - ・感震ブレーカーについて周知する取り組みをしたらよい。
 - ・感震ブレーカーを取付たい。感震ブレーカー設置に補助をお願いしたい。（複数）
- ※感震ブレーカー設置補助の取組みは、次年度以降の課題とさせていただきます。

《その他》

- ・中原区関連で災害の発生については少ないと思う。しかし、地震については例外であり、いざ災害発生時に対応できるか心配である。
- ・（伊那谷）活断層帯の地図が欲しい。（カラーのもの《拡大されたもの》）



出席者からいただいた感想・意見の中から、個として減災に向かっているところとする意識形成を感じ取ることができました。また、有事の際の地域コミュニティとしての対応にも大きな力を得たように思います。中原セーフコミュニティ（NSC）として、区民の皆さんの力をいただき、協働の力で区民がより安全・安心暮らせる地域の推進にいつそう努めて参りたいと思います。最後になりましたが、熱心に聴講くださった区民の皆様、講師をお務めくださった向山様ありがとうございました。